

鶴川・三輪・玉川学園地区 町田市観光エリアマップ

このエリアマップは、小田急沿線、鶴川駅・玉川学園駅を拠点として歩ける町田市の東北部を対象としています。落ち着いた郊外住宅地、学園都市として位置づけられ、自然と歴史が楽しめるエリアでウォークコースも多くあります。また、隣接する地域につながるウォークコースも記載しており、足を延ばすのも楽しみです。

町田市観光コンベンション協会



2021年3月 発行者 一般社団法人町田市観光コンベンション協会
〒194-0013 東京都町田市登川4-10-20 ぼっほ町田1階
https://www.machida-guide.or.jp
info@machida-guide.or.jp
042-850-9311 (町田ツーリストギャラリー)
玉川学園商店会、芝生の会、まちだ観光案内

高蔵寺 (真言宗豊山派 見山三輪院) E-6

貞治2年(1363)開山。足利家代々の祈願所として御朱印11石5斗を寄せられた。本尊は、木造の大地如來坐像。石楠花曼荼羅として整備された境内には、4月下旬～5月中旬にかけて石楠花や牡丹の発見が咲き誇ります。昭和10年北原白秋夫妻が訪れ、「高蔵寺を訪ねて」と題して7首詠むほどに趣のあるお寺です。

熊野神社 E-6

平安期の元慶元年(877)大和の国三輪山の大神神社から勧請されたのが始まりとされ、上輪の守り神として崇拝されています。本殿は江戸中期のもので市の有形文化財。現在は覆屋内に保護されています。ご神木のアカガシは樹齢300年以上のものです。

妙福寺 (日蓮宗 長祐山) G-6

明徳2年(1391)日蓮上人による開山。池上本門寺、鎌倉妙本寺両山の旧末寺で、本堂(市文化財)には如来坐像(室町末期)と日蓮上人坐像(江戸初期)を安置。祖師堂(都文化財)は、寛文2年(1672)池上本門寺から祖師日蓮像、厨子(1659年頃製作)と共に贈与され、翌年移築された貴重なものです(昭和44年に解体修理)。

廣慶寺 (曹洞宗 三輪山) F-6

元亀3年(1572)、室町時代に高津村作延で開基、天正12年(1584)当地に遷化し、文政4年(1821)に茅葺屋根の本堂を再建。近年、田を横断した参道に小型の礎108個を整備。本尊は、南無世継無量寿観世音菩薩。薬師如来木像は、明治5年、小野路にあった清浄院が廃寺となった際、買収されたものと言われています。

東光院 (真言宗単立寺院 岡上東光院宝積寺) E-5

行基菩薩(668～749)がこの地を通りかかった折、東の丘に光輝く観音様を発見。草庵を建てて奉安したと伝えられる古刹。本堂には、平安末期(1100頃)の作といわれる木像の曳鉉沙門天立像(川崎市重要歴史記念物指定)が安置されています。二階建ての仁王門、仁王門裏に収蔵されている六地藏、境内立ち並ぶ、糸ヒバ、柿の木、イチヨウの三本が、川崎市の「まちの樹5選」に指定されています。

福山神社 F-6

下三輪に位置する当社は、奈良大和の三輪の里、大神神社から元慶元年(877)に勧請されたとの伝承があります。祭神は、日本武尊、大物主命など。当社の前の台地から多くの祭用土器類が発掘されたことから、大神神社が背後に三輪山を拜してご神体としたと同様、当地でも裏山をご神体に見立てた神奈備信仰があったものと思われる。

岡上神社 E-6

明治42年、岡上村中にあった剣神社、諏訪神社、日枝山神社、宝殿稲荷社、開戸(開土)稲荷社の五社が合祀され、敷地は村の中央にある諏訪神社に決まり、村名を取り岡上神社として祀られました。大正14年に関東大震災で全壊した社殿を、昭和56年には社殿の改修、神楽殿、社務所等の補修を行って現在の姿となっています。

千手院 (新義真言宗豊山派 岩子山千手院普門寺) A-4

関東88ヶ所霊場の64番霊場。本尊は仏師安住作行(1628)の千手千眼観世音菩薩。聖武天皇(724～749)のころ行基が開創し、天正年間に悪魔が再興。境内の観音堂は土蔵があり、12石の御朱印の硯硯を有しました。本堂には天保5年(1834)四国より流れ着いた等身大の大師像が祀られています。

能ヶ谷神社 E-4

平成20年社殿を消失しましたが、平成22年に再建。もとは東照宮と呼ばれ、正保元年(1644～47)の創建。大正3年には、住吉神社、天照大神社、表谷神社、神母社を合祀し、社名を能ヶ谷神社としました。祭神は徳川家康公、天照大神、簡簡勇命(うかつのみこと)、中簡勇命(なかつのみこと)、底簡勇命(そこつのみこと)など。大川(おおやまのいかにみ)、ご神木は幹の強いいぶらぎ。

金井八幡神社 B-7

祭神は応神天皇。獅子舞は町田市指定の無形文化財。例祭日に奉納。村の鎮守で、獅子舞も古くから行われています。境内には、鳥居前階段下に地藏尊一尊、これを覆うようにかしの古木、拝殿前に狛犬二体。また神楽殿に使用されている礎石も、古い石造物等の礎石類を活用しています。

金井獅子舞

町田の三大獅子舞の一つで、市の無形民俗文化財。名主神祇大兵衛が享保6年(1721)に平穏無事と五穀豊稔の祈願と悪魔払い、また早稲の穂に悪雨を祈願して、金井八幡神社に奉納して以来現在まで伝承されてきているもので、足取り躍り形などに類のないT字型のものが特徴。近年行われている獅子舞の中では最も形式の整ったものと評価されており、9月の例大祭に奉納されています。

春日神社 B-5

前九年の役(1051)の際、源頼義以下軍勢が春日神社を参拝したといわれる由緒のある神社。祭神は、天児屋根命と比売神で明治時代に大蔵村の7社が合祀されています。珍しいのは、本堂手前の左右に神を守る陣階があること。入口三角地に、天保年間に建てられた陣階地蔵、西国秩父東東供養塔、月山瀧殿山羽山供養塔があります。

大蔵町 2822 鶴川駅よりバス「大蔵」下車徒歩7分
※市名の記載のないものは「町田市」です。 ※市外局番の記載のないものは「042」です。
※入場料は2021年3月現在のものです。

白坂横穴墓群 F-6

凝灰岩の地層に7世紀頃と推定される横穴墓群が13基、白坂と呼ばれる山道の斜面に発見され、そのうちの2基が保存されています。人骨、須臾器などが出土しています。現在は、2基が崩落、3基は埋め保存されているため、4基を見る事ができます。

三輪南遺跡 E-6

三輪山地区埋蔵地内(現三輪山住宅)の発掘調査で発見された奈良時代後期から平安時代中期の集落跡で、瓦葺土蔵等の遺構が300点ほどの瓦が出土。近隣の寺院建立等に使用されたものと推測されています。現在は、公園内に囲封付して整備保存されています。

沢谷戸自然公園 F-6

三輪の三大谷戸のひとつ、三輪緑山の開発によって田んぼであった部分が自然公園として生まれ変わったもので多目的広場、噴水公園、ちびっこ広場などもあり、車椅子でも訪れやすい公園です。春には、ツツジが咲き誇り、3～8月頃まで鶯の鳴き声がこだますることから「鶯の谷」として親しまれてきました。

飯守神社 B-2

慶長3年(1650)、飯守飯田次郎右衛門重家、観泉寺脇山門龍等によって遷宮された飯盛明神と称したようです。また、昭和61年鳥居の改修工事の時、鳥居下から古墳時代前期の祭祀用土器が出土し当地が昔から神域であったことが窺われます(神奈備の森)。大田魂神社と関わり深く、昔は祭礼の時に、「森」と「飯守」を奉納していましたが、「武蔵の国と相模の国の境に位置すること」「無量堂」を祭神は、調津彦命(おきつひのみこと)と保食神(うけものかみ)です。

観泉寺 (曹洞宗 金光山) B-3

元和元年(1615)、大阪夏の陣において当地の地頭であった飯田右馬助昌有が戦死した。その子、飯田次郎右衛門龍重が菩提供養のため木像観世音菩薩半跏像の胎内に父の遺髪を納めて開基し、大泉寺第十一世大和を開山に迎えて寛永3年(1626)創建したと伝えられています。境内地は、天台宗真光寺廃址に当山建立と言われ、その折に宗派を天台宗から曹洞宗へ、寺院名を真光寺から観泉寺に改めたこと。本尊は聖観世音菩薩、木造寄木造りで今から600年前の南北朝時代から室町の初期の作品です。

真光寺公園 B-C-1-2

雑木林を活かした生態系にも配慮した公園。3.7haの緑豊かな敷地に芝生広場や池があり、摩耶丘陵の自然と身近に触れ合うことができます。天気のよい休日には芝生に覆われた小高い丘でくつろぐ家族の姿が多く見られます。

鶴川台尾根緑道・早ノ道 C-2

川崎市麻生区との境界尾根道で、緑豊かな自然が残りウォーキングには絶好の道です。真光寺、広袴の新しい街並みが眼下に広がり、遠く丹沢連峰も雄大な休日には富士山も見えます。この緑道は古くから利用され、鎌倉古道早ノ道の尾根緑道と推定されています。早ノ道は黒川方面から尾根ルートを通る道に別れ、矢崎橋地帯で合流し、岡上を通りこどもの国、小机方面へと続いていると思われ、その道構が大久保遺跡、入生田遺跡からもはっきりした形で道路の硬化面が縦横に出ており、早ノ道説が裏付けられます。

クラフト工房 LaMano B-6

心身に障害を持つ人たちの工房。天然素材を使った草木染め、織りて生み出されるアート作品を製作・販売しています。藍型染手ぬぐいは、町田市名産品。染め教室も実施しています。

玉川大学教育博物館 C-7

10万坪の美しいキャンパスの東にある。教育の歴史資料や美術品・出土した土器などを収蔵する大学付属の博物館です。常設展示の他に企画展も開催され、多くの人が訪れています。

昭和薬科大学薬用植物園 C-9

昭和の初めに設立された大学ですが、20年ほど前に世田谷区から緑の多いこの地に引っ越ししてきました。付属の植物園は大学施設としては全国有数の規模を誇ります。毎週土曜日公開されているが、4月から10月にかけては月に一度、市民向けの薬草教室が開かれています。

まちを支えるく玉川学園地区社協 B-8

平成23年春に、市内初「地区」社会福祉協議会が発足しました。子どもからお年寄りまで、地域全体が手を取りあって身近な福祉の課題に取り組み組織です。バザーや野菜販売、ニット工房などを通じた交流はなにも歓迎。ちょっとしたお手伝いの「玉ちゃんサービス」などさまざまな活動を展開しています。

ぬぼこ山 B-8

竹林に囲まれたぬぼこ山本宮は、昭和8年に建てられています。主神は素戔鳴尊(スサノミコ)で、吉備の風が招魂されました。「ぬぼこ」とは豊産の御霊のこと。居合いの儀式も披露される五月のお節句など、季節ごとに参詣者で賑わいます。

武相荘 D-4

白州次郎・正子夫妻の旧邸。約120年前に建てられた農家を改築した茅葺きの平屋で山を背にした静かな環境に竹林が覆っています。現在は「旧白州邸・武相荘」として、記念館・資料館となり、茅葺屋根の母屋、納屋などほぼ全域を一般公開。次郎・正子の書斎や家族の居間、家具、持ち物、写真類、調度品や実際に使用した農機具などが展示されています。武相荘の名の由来は、「武蔵の国と相模の国の境に位置すること」「無量堂」を祭神は、調津彦命(おきつひのみこと)と保食神(うけものかみ)です。

和光大学ポリホール鶴川 D-5

複合文化施設であり、300席のホール、鶴川駅前連絡所、鶴川駅前図書館、有料貸出施設を備え、共有空間や開放的なつくりが特徴です。『ホール』『コミュニティ』『図書館』のそれぞれ機能が融合することで、多様な人々の出会い、交流、発展することを目指しています。隣にはカフェがあり、サロンコンサートが定期的に開かれています。

西山美術館 A-4

ロダンの彫刻とユトリロの絵画を展示する美術館。最近では世界の銘石も集められています。700坪の敷地に2000個の鳥舎を配した庭園も見事で、4000株のツツジをはじめ四季折々の草木が植栽されています。併設の眺望のよい喫茶室では1畧30万坪のマイセンの陶器コーナーがいただけます。

自由民権資料館 A-4

明治時代、町田でも石版刷者や青木文太郎などが中心となって自由民権運動が活発に行われました。それらに関し、収集・保管された資料を閲覧できます。

玉川学園地区社協 B-8

平成23年春に、市内初「地区」社会福祉協議会が発足しました。子どもからお年寄りまで、地域全体が手を取りあって身近な福祉の課題に取り組み組織です。バザーや野菜販売、ニット工房などを通じた交流はなにも歓迎。ちょっとしたお手伝いの「玉ちゃんサービス」などさまざまな活動を展開しています。

本町田遺跡公園 A-7

縄文・弥生時代の復元住居を見ることができ。この地域は多くの土器も見つかり、関東地方、あるいは全国でも多摩の帯は遺跡密度が高く、つまり古代人にとってここは住みやすい地域だったと考えられます。何千年も昔にこの街の丘や川で、木の実を集めぬぎて、魚をさくう人たちが暮らす様子を目に浮かべてみてください。

南大谷天神社 B-9

正保2年(1645)大谷村長五十嵐次郎左衛門が鳥山屋法正にご神像をつくらせ、村の鎮守としたとされています(現社殿は昭和39年の建立)。市内にある三天神の一つで、菅原道真を祭神とし京都の北野天満宮を本社としています。例祭日は毎年9月25日です。

寺家ふるさと村 G-7-8

全域86.1haが自然保護区に指定され、横浜市と地域住民によって大切に管理されています。雑木林の丘に挟まれた谷戸の水田が絶景もあり、その奥に溜め池が点在し、昔の横浜の田園風景が色濃く残っています。初夏にはホテルもみられます。総合案内を行う「四季の家」では、自然や農業に親しむための資料や食事処が揃っています。里山中ほどの陶芸舎では、志野焼づくりを楽しむことができます。

こどもの国 E-F-8

今上天皇の成婚を記念して、旧日本軍の弾薬庫跡地を整備し、昭和40年のこどもの日に開園しました。摩耶丘陵の自然を生かした約100万㎡に牧場やこども動物園、遊具、プール、スケート場、サッカー場、テニスコートなど多数の施設があり、体験イベントも盛んに開催されています。一年を通じ、多くの家族連れで賑わっています。

岡上営農団地 D-E-6-7

鶴見川を渡って1分歩いたところに35.6haの広大な農地が広がります。温室や露地の野菜栽培、柿、りんご等の果物が栽培されています。さつまいも、落花生振りは、観光農業として教育の一環として川崎市の幼稚園、小学校の子ども達の収穫体験等が活発に行われています。平成19年度の登記簿が指定されている「陣師川」の古木が随所にみられ、「ふるさと麻生八景」にも選ばれています。

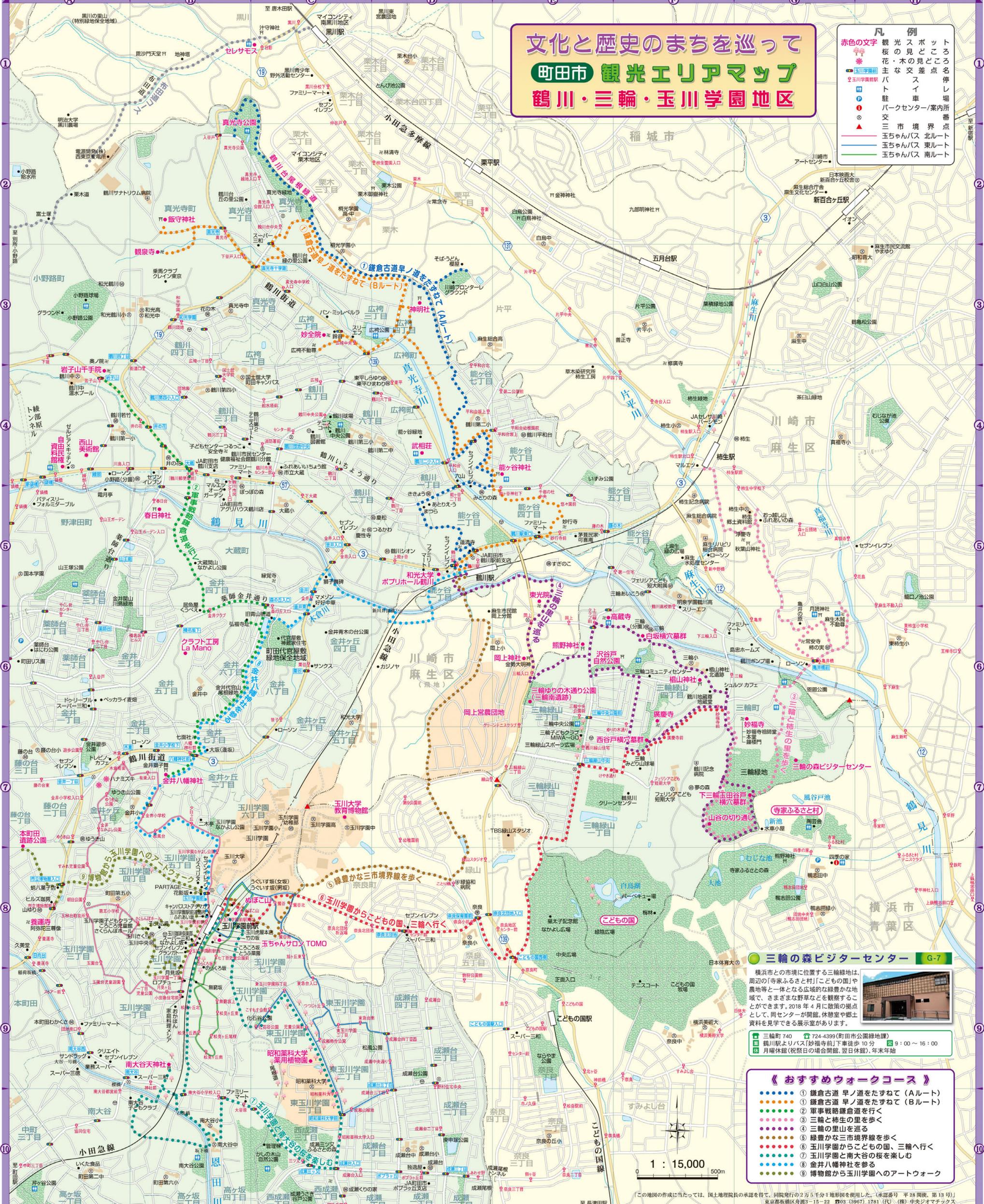
ファーマーズマーケットセレスモス C-1

川崎市内唯一のJA直営大型農作物直売所。生産者が直接持ち込むその朝採れた新鮮な野菜をはじめ、農産物が豊富に並びます。

川崎市麻生区黒川 172 044-989-5311
鶴川駅よりバス「金井クラブ」下車徒歩6分
10:00～18:00(11月～3月は17:00まで)
水・年・年末年始はか

文化と歴史のまちを巡って 町田市 観光エリアマップ 鶴川・三輪・玉川学園地区

- 凡例**
- 赤色の文字 観光スポット
 - 桜のマーク 桜の見どころ
 - 花のマーク 花・木の見どころ
 - ★ 主要な交差点
 - バスマーク バス停留所
 - Pマーク 駐車場
 - 車マーク 駐車場
 - パークセンター/案内所
 - 番
 - 三市境界点
 - 玉ちゃんバス 北ルート
 - 玉ちゃんバス 東ルート
 - 玉ちゃんバス 南ルート



三輪の森ビジターセンター G-7

横浜市との市境に位置する三輪緑地は、周辺の「寺家ふるさと村」や「こどもの国」や農地等と一体となる広域的な緑豊かな地域で、さまざまな野草などを観察することができます。2018年4月に散策の拠点として、同センターが開館。休館日や郷土資料を見学できる展示室があります。

- 三輪町 740 ☎ 724-4399 (町田市公園緑地課)
- 鶴川駅よりバス「妙福寺前」下車徒歩10分
- 月曜休館 (祝祭日の場合開館、翌日休館)、年末年始

- 《おすすめウォークコース》**
- ① 鎌倉古道 早ノ道をたすねて (Aルート)
 - ② 鎌倉古道 早ノ道をたすねて (Bルート)
 - ③ 軍事戦略鎌倉道を行く
 - ④ 三輪と栲生の里を歩く
 - ⑤ 緑豊かな三市境界線を歩く
 - ⑥ 玉川学園からこどもの国、三輪へ行く
 - ⑦ 玉川学園と南大谷の桜を楽しむ
 - ⑧ 金井八幡神社を参る
 - ⑨ 博物館から玉川学園へのアートウォーク

1 : 15,000

500m

- おすすめウォークコース** ●km ●時間 たいたいのコース全長と所要時間
- ① 鎌倉古道 早ノ道をたすねて (Aルート) 10km・6時間**
鶴川駅→蓮清寺→能ヶ谷神社→鶴川第二小→能ヶ谷西緑地→神明社→川崎フロンターレグラウンド→鶴川台尾根緑道→真光寺公園 →バス停真光寺公園
 - ② 軍事戦略鎌倉道を行く 4km・2時間**
バス停岩子山→岩子山千手院→大蔵→春日神社→関山→弘福寺→旧青山街道→七面社→金井八幡神社→バス停八幡神社前
 - ③ 三輪と栲生の里を歩く 10km・6時間**
バス停妙福寺前→妙福寺→山谷の切り通し→下三輪玉田谷戸横穴墓群→恩道公園 →麻生不動尊→月読神社 →亀井の原→おっ越し山ふれあいの森→浄慶寺→栲生駅
 - ④ 三輪の里山を巡る 8km・4時間**
鶴川駅→鎌倉古道早ノ道→岡上神社→三輪南遺跡→熊野神社→高蔵寺 →白坂横穴墓群→福山神社北遺跡→福山神社→鶴川地蔵尊地蔵堂→妙福寺→下三輪玉田谷戸横穴墓群→寺家ふるさと村 →山谷の切り通し→廣慶寺→西谷戸横穴墓群→沢谷戸自然公園 →鶴川駅
 - ⑤ 緑豊かな三市境界線を歩く 5km・2.5時間**
玉川学園前駅→玉川学園七丁目→玉川学園の南を通り階段を下る→山道を辿りハーブガーデン→のどかな園風景→緑協和病院→緑山の西を北へ→岡上農園地→岡上小学校→鶴川駅
 - ⑥ 玉川学園からこどもの国、三輪へ行く 4.5km・2時間**
玉川学園前駅→めほこ山→うけいす坂→奈良北団地→こどもの国西側→三輪緑山中央→西谷戸横穴墓群→妙福寺→バス停妙福寺前
 - ⑦ 玉川学園と南大谷の桜を楽しむ 4km・2時間**
玉川学園前駅→南口商店街→尾根道→こすもろ会館 →桜並木→昭和薬科大学→成瀬三つ又→かしの木山自然公園 →大谷原左→南大谷小と南大谷中の間を穿る→恩田川→農園→小田急の下をくぐる→都宮住宅→南大谷神社→玉川学園前駅
 - ⑧ 金井八幡神社を参る 5km・2.5時間**
玉川学園前駅→玉川学園→なかつし公園→金井小学校→金井八幡神社 →大坂→七面社→町田代官屋敷緑地→獅子舞碑→和光大学ポプリホール鶴川 →鶴川駅
 - ⑨ 博物館から玉川学園へのアートウォーク 4km・2時間**
バス停市立博物館前→遺跡公園→四季桜→花影坂→さくらんぼホール →子ども広場→はちまき道桜並木→月見坂→北口商店街→玉川学園前駅

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を使用した。(承認番号 平 28 四 規 第 13 号) 東京都板橋区角袋3-15-22 ☎03-(3967) 1781 (代) (株) 中央ジオマテックス